

1. 件名：「三菱重工業（株） 特定兼用キャスクの設計の型式申請に関する面談について」

2. 日時：令和4年1月11日 13時30分～14時50分

3. 場所：原子力規制庁 9階C会議室

4. 出席者：

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

止野安全管理調査官、深堀上席安全審査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官、田澤審査チーム員

三菱重工業株式会社：

原子力セグメント 機器設計部 主席プロジェクト統括 他2名

5. 要旨

（1）三菱重工業株式会社（以下「MHI」という。）から、発電用原子炉施設に係る特定機器である特定兼用キャスクの設計の型式証明変更申請及び型式指定申請を行うにあたり、確認したい事項について、本日提出された資料に基づき質問があった。

（2）これに対し、原子力規制庁から、昨年10月27日付けで証明を受けた特定兼用キャスクの設計に係る型式証明申請実績、及び、参照可能と考えられる使用済燃料貯蔵施設に係る特定容器等の設計に係る型式証明の変更申請例等を踏まえて申請書類等を整理するよう求めるとともに、申請後は速やかに申請内容の説明スケジュール等を提示するよう伝えた。

（3）MHIから、了解した旨回答があった。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和3年3月24日 第67回原子力規制委員会 資料1）を踏まえ、対面で実施した。

6. その他

提出資料：

資料1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式申請に関する確認事項について

以上